



Q 協働ってなに?

立場の違う人たちが同じ目的や課題に対して、その達成や解決のために一緒に考え役割を決めて協力することです。単独で行うよりも複数で行う方がより大きな成果を得られる場合に「協働」という方法が有効です。

Q なぜ協働するの?

複数が連携することで、それぞれが得意とする効果的なアプローチで取り組むことができ、より本格的な課題解決が可能となります。構成している様々な主体が一緒に取り組むことで、市民ニーズに的確に対応することが期待できます。

協働のポイント(気をつけること)

1. お互いを理解しよう

それぞれの立場や特性、価値観の違いを理解しましょう。相互理解が得られないと、協働はうまく進まず、双方にとって負担の増加となることがあります。積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことが大切です。批判を持ち込まないように注意しましょう。

2. 対等な関係であること

どちらかの一方的な意見や方法により事業が実施されることはありません。上下関係ではなく、横の関係であることを認識しましょう。意見を出しやすい関係を築きましょう。

3. 目的の共有をいかり

お互いにメリットのある事業にする必要があります。協働の根幹となりますので、なぜこの事業に取り組むのか目的を整理し、認識にずれが出ないようにしましょう。

4. 役割分担を明確に

それぞれの特性を活かした役割分担をし、責任の所在や範囲を明らかにしましょう。不足を補い得意なことを担える役割分担となるようよく話し合いましょう。予定どおりに進まないことや途中で協議が必要な場合もありますので、定期的なミーティングが有効です。

5. 振り返りしよう

事業を振り返り、成果だけでなく改善点を含めて確認し合ひましょう。今後のより良い協働につながります。

共同、協同、協働..何が違うの?

共同: (同じ場所で) 一緒に活動すること

協同: 同じような立場の人が同じ目標の達成に向けて役割を分担して活動すること

協働: 様々な人や団体等が同じ目的のために協力しあい、それぞれが異なる役割のもと活動すること

協働のプロセス 実際に どうやるの？

身近な課題に気づき、解決に向けて行動する中で、仲間を増やしたり、活動をブラッシュアップしたりしても自分たちだけでは解決が難しい場合は、協働することを考えてみてください。協働を始める前、そして始めてからも、お互いに十分話し合って疑問点をなくしていくことが大切です。どのように協働を進めたらいいか迷ったときに参考にしてみてください。



○協働の拠点施設 丸亀市市民交流活動センターマルタス

市民や市民活動団体、事業所など様々なまちづくりの主体が交流し、まちづくりや地域課題に対して主体的に活動できる場所です。マルタスはそれぞれの活動を応援し、支援する施設です。交流会やセミナーの開催、相談業務等を行っていますので気軽にお立ち寄りください。



〒763-0034 丸亀市大手町2-4-11
開館時間：午前9時～午後9時30分（年中無休）
TEL：0877-24-8877 FAX：0877-85-6535
HP：https://marugame-marutasu.jp
Mail：info@marugame-marutasu.jp



マルタス WEB サイト

◎発行元 丸亀市地域づくり課

〒763-8501 丸亀市大手町二丁目4番21号
TEL：0877-24-8853 FAX：0877-24-8863
Mail：chiiki-k@city.marugame.lg.jp

